

平成30年度(第20回)日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式
追悼のことば

平成31年3月23日

日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式の開催に当たり、河野太郎外務大臣に代わり挨拶申し上げます。

今から74年前、祖国のために、そして家族や大切な人々の安寧を祈りながらこの地で亡くなられた日米双方の兵士の御霊に対し、哀悼の誠を捧げるとともに、御遺族の皆様に謹んでお悔やみ申し上げます。

かつて両国が敵として相まみえたここ硫黄島で、退役軍人の方々、御遺族、関係者により、多年にわたり合同慰霊追悼顕彰式が営まれているのは、日米両国の「和解の力」、そして絆の強さを表すものです。

今日我々が享受している平和と繁栄は、尊い犠牲の上に築かれたものであることを決して忘れません。普遍的価値を共有する日米両国が、インド太平洋地域及び国際社会の平和と繁栄のため緊密に連携し、たゆまず努力していくことを英霊の皆様の前でお誓い申し上げます。

改めて亡くなられた方々の鎮魂と平和を祈念するとともに、御参列の皆様のお健勝を心からお祈り申し上げ、私の挨拶といたします。

外務副大臣 阿部俊子